






安全に正しくお使いいただくために

この安全上のご注意、取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


 警告	<p>この表示を無視して、過った取り扱いをすると人が死亡または、重傷を負う可能性が想定されることを示しています</p>
--	---


 注意	<p>この表示を無視して、過った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的障害のみの発生が想定される内容を示しています</p>
--	---

絵記号の例


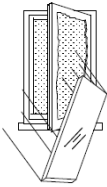
	<p>注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています</p>
	<p>禁止（やってはいけないこと）を示しています</p>
	<p>必ず実行していただく「強制」を示しています</p>


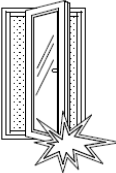
警告


	<p>窓を開けた状態で身を乗りださないで下さい。</p> <p>転倒したり、物が落下すると大変危険です。</p>
---	--


	<p>窓の回りに植木鉢等、物を置かないで下さい。</p> <p>障子が割れたり、物が落下すると大変危険です。</p>
---	--


注意


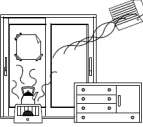
	<p>強風や雨、陽のあたる場所のサッシは、特に日頃より安全性に注意して下さい。</p> <p>自然劣化により、木部の腐りや割れ、金物の破損や故障等により、硝子・障子枠・扉等の落下による人身事故・破損等を招く可能性があり危険です。上記不良が出ましたらご連絡下さい。</p>	
---	---	---

	<p>サッシを開ける時には周囲に注意して開閉して下さい。</p> <p>外開のサッシなどは、他の人や物に人に当たると事故や怪我等の原因になる可能性があり大変危険です。</p>	
---	---	---

	<p>扉や取手にぶら下がったり勢いよく閉めたりしないで下さい。</p> <p>故障や破損の原因となり危険です。</p>
---	---

	<p>窓の回りでお子様を遊ばせないで下さい。</p> <p>硝子が割れたり、物が倒れたりして危険です。</p>
---	---

	<p>風に煽られた時、窓を閉める等、手や指を挟まれないようご注意下さい。</p> <p>強風が吹いている時は、注意して扉を開けて下さい。急に開閉した場合、指詰事故や扉との接触事故、扉壁等の損傷や金物が破損する場合があります。（お子様・お年寄りには、特に注意下さい）</p>
---	--

	<p>硝子部に紙を貼ったり冷暖房等の放射熱を直接当てたり、厚手のカーテン・たんすなどを密着させないで下さい。</p> <p>硝子が割れて思わぬ事故になる可能性があり危険です。</p>	
---	---	---

●木材について

- ・ つま〜どは天然の木材を使用しています。
そのため季節や湿度により伸縮して反りや割れなどが発生することがあります。
開閉に支障がなければ問題となる可能性は低いですが、気になる場合は弊社までお問い合わせください。
- ・ 米松材は脂（ヤニ）が出ます。白くなって硬化してから、ヘラなどで除去して下さい。
ヤニは通常 1～2 年程度で出なくなります。

●塗装方法の注意・点検事項

－塗装期間－

- ・ 塗膜の傷み具合は、経過年数・立地条件・方向・樹種などにより多様です。
一般的に 2～3 年毎の再塗装をおすすめ致します。
- ・ 素材をいつまでも美しく保つためには、適切なご判断のうえ定期的に再塗装をしていくことをおすすめします。
- ・ 再塗装しなければならない兆候として、雨水をはじかなくなってしまうときや、塗装表面の光沢がなくなったとき、カビによる汚れが発生したとき、雨掛かりあるところの塗装が変色したとき等があります。

－塗装箇所－

- ・ 木製サッシの外部全体。
- ・ 内部については色あせがひどくなった場合のみで大丈夫です。

－塗装方法－

- 1： 木部を濡れた布などできれいに拭いて下さい。
- 2： 乾いてから約 #800～#1500 の耐水ペーパー（紙やすり）で木部を軽くこすって下さい。
その際は、塗装が落ちないように注意して下さい。
素材によってはヤニが白く硬化しているものがあります。ヘラなどで除去してから作業して下さい。
- 3： 壁・硝子・金物ほか木部以外をマスキングテープなどで養生して下さい。
- 4： 塗料を塗料用容器などに適量入れ、刷毛（柔らかい物）で垂れないように木部を塗って下さい。
硝子に付いた時は、シンナーなどで拭き取って下さい。

塗装が困難または危険を伴う場合は、専門業者または弊社までご連絡下さい。



塗料・洗浄材等の取り扱い及び保管上の注意事項をよく読み正しくご使用下さい

●複層硝子の注意・点検事項

- ・ 冷暖房の吹き出し口を硝子面に直接当てたり、硝子面に密着して厚手のカーテンを吊ったり、洋服たんす等蓄熱性のある家具などを硝子面に密着させると、熱割れ（特にワイヤー入の複層硝子）の原因となりますのでおさげ下さい。
- ・ 硝子面に付着したコンクリート灰汁・砂などの固形物は、水拭きで除去して下さい。
- ・ 硝子は汚れに応じクリーニングして下さい。極端に寒い所や、急激な温度変化のある所、または油煙や湿気の多い所は、結露する可能性があります。
- ・ 木製サッシの水密性が悪くなっている場合には、シーリング材を打ち直して下さい。
- ・ 一般的な雨に対する防水性能をクリアしていますが、ホースなどで勢いよく水をかけると室内側に水が入る可能性があります。直接水をかける場合は弱めの噴霧状態で放水するようお願いいたします。
- ・ 窓ガラスのコーキングは 3～5 年程度で劣化して、コーキングが切れたり、はがれる可能性があります。
定期的に点検・補修を行ってください。
- ・ 硝子の取り替え工事は、最寄りの硝子店か、施工業者または弊社までお問い合わせ下さい。

●日頃のお手入れについて

- ・ 埃や汚れは乾いた布などを使用し拭き掃除を行ってください。
汚れがひどい場合は水拭きをし、仕上げに乾いた布で水分を拭き取ります。中性洗剤を水で薄めて使用しても構いません。
サッシの金具部分（ギア・アーム・丁番・戸車部分などの摩擦部分）やレールなどに年に 1～2 回程度、潤滑油を差してください。